

平成 24 年度「全日本中学生水の作文コンクール愛媛大会」募集案内

1 目的

渇水が頻発する本県では、県民の皆さんが限りある水資源についての理解を深め、節水等の行動につなげていくことが重要です。

このため、「水の週間（毎年 8 月 1 日～7 日）」行事の一環として、県内中学生から「水」に関する作文を募集し、優秀作文を表彰することにより、水資源の重要性の普及啓発や節水型社会づくりの推進を図ることを目的としています。

各学校におかれましては、総合学習のテーマとしての活用などのほか、生徒への冬休みや春休みの課題の一つとして取り入れていただくなど、本作文コンクールへの積極的な応募へのご協力をお願いいたします。

2 作文コンクールへの応募について

(1) 募集テーマ 「水について考える」(題名は自由)

水は、地球上のあらゆる生命の源です。また、水は、自然の力によって循環する資源です。

水は、この循環の中で私たちの毎日の暮らしや、農業、工業などの産業活動を支える重要な資源となっているほか、地域の個性ある豊かな水辺環境や文化の形成にも大きな役割を果たしています。この重要な資源である水を私たちの暮らしの中で不自由なく使えるように、ダムをつくって水を貯めたり、水をきれいにし各家庭に配るなど様々な努力がなされています。

この機会に、水についての理解を深めるとともに、この限りある貴重な水資源を未来に引き継ぐため、日常生活での体験や両親、先生から学び聞いた話などをもとに、いま一度「水」を見つめ「水」について考えてみましょう。

例題：「大切な水」、「水不足を体験して」、「命を支える水」、「ダムの役割」、「水と暮らし」、「水源を守る」、「水のある風景」等

(2) 応募資格

県内在住の中学生（平成 24 年度に中学校に在学中の者、又は、これらの者と同じ学齢の者を含む。）

(3) 原稿

400 字詰原稿用紙 4 枚以内で日本語により表記されたものに限りま
す。（個人作品に限ります。）

(4) 応募締切日

平成 24 年 5 月 18 日（金） 当日到着分有効

(5) 応募方法

作文には、本文の前（原稿用紙枠内）に題名・学校名（ふりがな）・学年・氏名（ふりがな）を記入して送付してください。

(6) 送付先

各学校が所在する市町の水資源担当課
又は
愛媛県土木部河川港湾局水資源対策課
〒790-8570 松山市一番町四丁目 4-2
TEL : 089-912-2680 FAX : 089-912-2679
E-mail mizushigen@pref.ehime.jp

3 審査について

(1) 地方審査（愛媛県）

県に設置する審査会において地方審査を行い、優秀作文3編（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）を選定します。

（選定した優秀作文は、国土交通省が実施する「第34回全日本中学生水の作文コンクール」中央審査の対象として、国土交通省へ推薦します。）

(2) 中央審査（国土交通省）

各都道府県から推薦した優秀作文については、7月上旬までに国土交通省において中央審査を行い、入賞作文（最優秀賞、優秀賞及び入選）を決定します。

4 賞について

(1) 地方審査優秀作文（愛媛県から授与）

最優秀賞 1 編（賞状及び副賞〔図書カード3千円分〕）
優 秀 賞 1 編（ " 〔 " 2千円分〕）
奨 励 賞 1 編（ " 〔 " 1千円分〕）

(2) 中央審査優秀作文

最優秀賞【国土交通大臣賞】…………… 1 編
優 秀 賞【国土交通省水管理・国土保全局水資源部長賞】… 1 編
 【全日本中学校長会会長賞】…………… 1 編
 【水の週間実行委員会会長賞】…………… 1 編
 【独立行政法人水資源機構理事長賞】…………… 1 編
 【中央審査会特別賞】…………… 1 編
入 選…………… 30 編程度

上記 ~ に賞状及び副賞を授与

中央審査参加賞

中央審査会へ送付された者のうち、 を除く者へ参加賞を授与

（地方審査入賞者については、学校名・氏名・作文等について、県のホームページへの掲載、市町の広報紙への掲載、県や市町での水の週間パネル展での展示のほか、報道機関へ提供することがありますので、予めご承諾の上、ご応募下さい。）

(3) 賞状等の授与

地方審査入賞者

県水資源対策課が学校を訪問し、賞状及び副賞を授与します。

中央審査入賞者

- ・ 最優秀賞及び優秀賞の受賞者については、国土交通省へ招待し、賞状及び副賞を授与します。
- ・ 入選者へは、国土交通省から県を通じて賞状及び副賞を授与します。

5 個人情報の取扱いについて

本コンクールの応募作文に記載の個人情報は、本コンクールの運営に必要な範囲内で利用します。応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することはありません。

6 その他

主催 国土交通省、愛媛県

後援 文部科学省、全日本中学校長会、独立行政法人水資源機構、
水の週間実行委員会